

# BOMBER

35W HID for Kawasaki Ninja250('13- JBK-EX250L)

## product manual

カワサキ Ninja250('13～ JBK-EX250L)専用HID 取扱説明書

### 警告

- 取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 本製品は高電圧を発生させるシステムを使用しているため、取扱には充分ご注意ください。  
高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので、落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。故障の原因となったり、高電圧感電により火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- 取付けや点検を行う際は、濡れた手や、オイルの付いた手で行わないでください。  
また、点灯時にはバルブ、バラスト、コードには触らないでください。  
高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。  
車両火災や事故の原因となります。また、分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 取付け作業前および作業中に本製品に損傷を発見した場合は直ちに取付け作業を中止してください。  
高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

### 注意

- 本製品はカワサキ Ninja250('13～ JBK-EX250L)専用です。  
※車種により車両側配線色、ライトケースや配線方法が異なる場合があります。
- 本製品を取付けの際、確実に取付けされているかを確認してください。  
また本製品を取付けた後も、定期的に確実に取付けられているか確認を行ってください。
- 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店または当社サービス課までお問い合わせください。
- 点灯中のバルブを直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- ライト点灯時や消灯直後は、バルブに水を直接かけたり、手で触れないでください。バルブが非常に高温になっており、火傷の原因となります。また、水をかけると急激な温度差によりガラス部分が割れる原因となります。
- バルブを落としたり、キズを付けたり、無理な力を加えないでください。  
バルブの破損、性能の低下、バルブの寿命を縮める原因となり、ケガの原因にもなります。
- 本製品の点灯/消灯は頻繁に行わないでください。バルブの寿命が短くなったり、不点灯など故障の原因となります。
- 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のあるものの近くでは点灯しないでください。
- 本製品は、当社測定機による検査にて車検対応品として製造しておりますが、車両の状態や誤差・検査測定機の相違等により車検に適合しない場合があります。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。光軸があっていないと車検対応出来ません。  
また対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。
- 本製品の取付けによりディーラーなどの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## HIDの車検対応基準及び車検不合格時の対応について

- 色温度に関して

車検場によって異なる場合がありますが、一般的に約3000ケルビン～約6000ケルビン以下が車検対応基準値となっています。ただし、検査員によって基準値が異なる場合がありますのでご注意ください。  
※本製品は上記基準値以内です。

- 光度に関して

車検対応基準値は1灯につき15000カンデラ以上であることとされています。  
※本製品は上記基準値以上です。

- 本製品をお使いいただいて車検が通らない場合

本製品は車検対応製品(色温度・光度)ですが、ライトテスターが光量不足と判断し車検不合格になる場合があります。

ヘッドライトはヘッドライトバルブの光をリフレクターで反射させ光を照らしています。  
ノーマルのハロゲン球では光量が低く且つやわらかい光のため、リフレクターからの反射光がまとまるのに対し、HIDバルブはハロゲン球よりも3倍以上の光量であるため目視においては明るいですが、リフレクターの成形精度が低い場合、光が散ってしまいライトテスターが光量不足と判断してしまいます。

もし、上記等の内容で車検に受からない場合はノーマルのハロゲン球をHIDバルブと差し替えてから光軸調整をして車検を受けてください。

※この際、HIDのバッテリー電源線のヒューズは必ず取り外してから作業をおこなってください。

また、この作業は出先での突然のトラブルでも対応できますので、ノーマルのハロゲン球を携帯してください。

## 構成部品

- HIDバルブ(H7) × 1
- バラスト × 1
- バラスト用両面テープ × 1
- 高圧防水コネクター × 1セット
- 2P変換ハーネス × 1
- タイラップ(ロング) × 4
- タイラップ(ショート) × 5

## 仕様

- 定格電圧 DC12V
- 定格出力 35W

## 取付け方法 ※部品取付け位置(参考)

別紙を参照してください。

## 配線図

### 警告

本製品をお取付けになる場合は、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で取付け作業を行ってください。  
万が一、配線中に誤操作で動作してしまうと感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

取付けや点検を行う際は、ゴム手袋をつけて作業を行ってください。  
高電圧感電により、ケガや人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

HIDバルブを接続しない状態で電源を入れないでください。  
高電圧スパークが発生し、本製品が破損したり感電する恐れがあります。

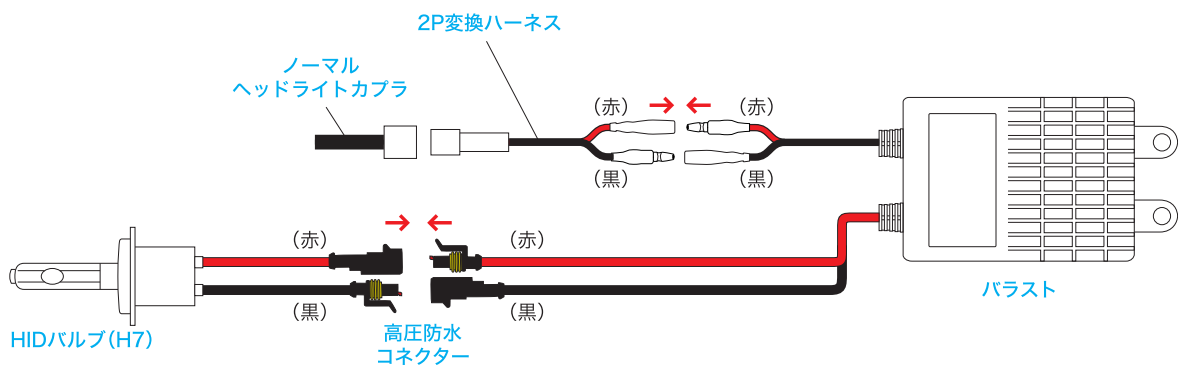
### 注意

取付け作業にあたっては、広くて明るい平坦な場所で充分なスペースをとり、安全を確保して行ってください。

取付け・取外しの際は、本製品や車両部品等にキズをつけないよう充分に注意してください。また取外した部品類は紛失しないよう充分に注意してください。

取付け作業中に、本製品の破損が発生した場合の保証は、一切の責任を負いかねます。

※コネクタやターミナル端子は確実に接続してください。接続不良は異常発熱、発火の原因となります。



**バラストとバルブ間の高圧防水コネクタは以下を厳守してください。**

- ・コネクタボディ部を持って、慎重に確実に接続してください。  
※コネクタの接続が不完全だとアーク放電が発生し、発熱から発煙・発火の原因になります。  
※コネクタの接続が不完全な状態であっても、アーク放電によって点灯する場合があります。  
その場合も、発熱から発煙・発火の原因になります。
- ・ケーブルを持ってコネクタを押し込んだり、強く引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。

## 故障かな？と思われる前に…

**症状** 点灯しない。

**確認事項** バッテリーコードのヒューズが切れていませんか？  
また、コネクタ・ギボシは確実に接続されていますか？

**症状** 高圧防水コネクタ付近で異音がある。

**確認事項** 高圧防水コネクタの接触不良や絶縁不良です。確実に接続し直してください。

**症状** 点灯後、徐々に発光色が変わる。

**確認事項** HIDバルブはシステム特性により、点灯直後に徐々に色が変わります。  
この変化は30秒～1分程度で安定します。

**症状** エンジン始動時にHIDバルブがチラついたり、消灯する。

**確認事項** エンジンがかかっていない状態でバルブを点灯させ、そこからエンジンを始動させると、チラツキやバルブが消灯することがあります。これはセルモーターを動かす事により急激な電圧の低下によるもので故障ではありません。※バッテリーが弱っている時。消灯した場合は一度キーを“OFF”にして10秒以上待ってから、再度“ON”にしてください。

**症状** バラストから異音がある。

**確認事項** バラストの電圧を制御する為の音が出る場合がありますが、本製品の異常・故障等ではありません。

**症状** バルブの明るさが以前より暗い。

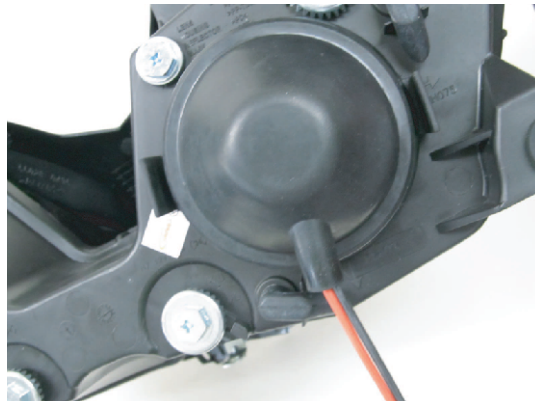
**確認事項** 長期間使用していると、目が慣れ以前よりも暗く感じる場合があります。  
その場合交換されたハロゲンバルブに戻し、明るさを比べてみてください。

その他、ご不明な点は、販売店または当社サービス課(044-870-7155)へご連絡ください。

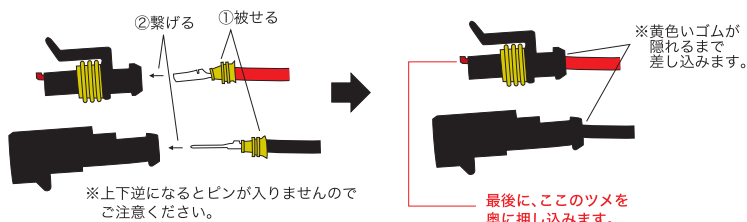
①スクリーン、バックミラー、アッパーカウル、左右アンダーカウルを取り外す。



④HIDバルブの高圧コードを防水ゴムキャップ下方部の穴から通してヘッドライトユニットに取り付けます。付属の高圧コード用の防水カプラーを赤、黒それぞれのコードに取り付けます



**防水コネクターの取付け**



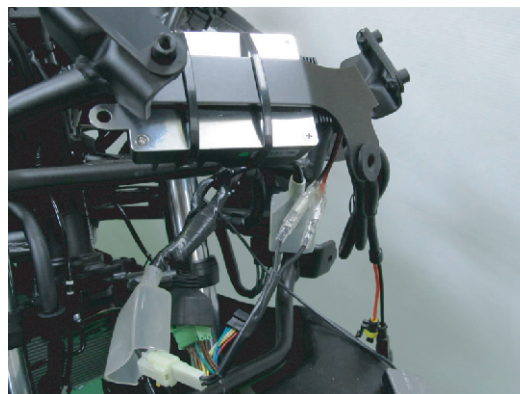
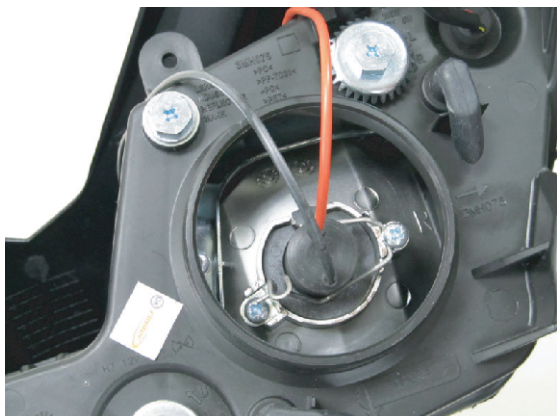
②ヘッドライトハーネスをヘッドライトから外します。2本の線を途中で切断するか、カプラーから端子を外すかして、防水ゴムキャップから配線を引き抜きます。

⑤バラストとアッパーカウルステーの間にスポンジ両面テープを挟んでアッパーカウルステー右側にタイラップで取付けます。



③HIDバルブをヘッドライトに取り付けます。

⑥ヘッドライトハーネスとバラストを接続します。HIDバルブとバラストの高圧コードのカプラーを接続します。



⑦アッパーカウル、アンダーカウル左右、スクリーン、バックミラーを元に戻して完了です。